

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
数学	数学Ⅱ	選択	数学Ⅰの履修済	4単位	1・2・3
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
木曜	13時間	6時間	4時間	3回	12枚

科目紹介と履修上のアドバイス			
<p>数学Ⅱを履修するためには、数学Ⅰの履修を終えていることが条件になります。</p> <p>数学Ⅱの学習内容は、「方程式・式と証明」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数と対数関数」「微分と積分」です。「方程式・式と証明」では、複素数という新しい数の定義を学び、すべての2次方程式が解けるようになります。「図形と方程式」では、直線と円を方程式で表し、様々な問題を解きます。「指数関数と対数関数」では、学習したことがない関数について学びます。さらに「微分と積分」では、3次関数の増減について学び、積分では曲線で囲まれた面積が求められるようになります。</p> <p>数学Ⅱの内容は、他の数学の科目に比べてとても難しい科目ですが、理系の大学等に進学したい人は、ぜひ受けておくべき科目です。レポートについては、スクリーングでしっかり説明していきますので、毎回のスクリーングに出席するようにしましょう。</p>			
教科書	新数学Ⅱ(東京書籍)	学習書	新数学Ⅱ(NHK出版)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力を身に付けている。 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を身に付けている。 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

面接指導計画

回	学習内容	教科書ページ	レポート	回	学習内容	教科書ページ	レポート
第1回	分数式の計算, 複素数 2次方程式	8-17	1	第9回	微分係数と導関数	106-115	9
第2回	解と係数の関係, 因数定理	18-23	2	第10回	導関数の応用	116-123	10
第3回	高次方程式, 式と証明	24-31	3	第11回	不定積分	124-127	11
第4回	座標と直線の方程式	34-47	4	第12回	定積分, 面積	128-129	11, 12
テスト	レポートNo.1~No.4			第13回	囲まれた図形の面積	130-132	12
第5回	2直線の関係, 円の方程式 領域	48-63	5	テスト	レポートNo.9~No.12		
第6回	三角関数	66-83	6				
第7回	指数関数	86-95	7				
第8回	対数関数	96-103	8				
テスト	レポートNo.5~No.8						

